

(仮称)逗子市自治基本条例検討ワークショップ(第1回) 班ごとのまとめ

逗子でこういうふうに住らしたい		そのために必要なもの、こと。そのためにできること、しなければいけないこと
【1班】	1 みんなが楽しめる街	<ul style="list-style-type: none"> ○趣味、サークルを通じて ○外国人や転入をしてきた人たちも楽しみ、交流のできるまち ○週末に楽しめるイベントをやってみてはどうか。いろいろな人が入りやすい。気軽に参加できる。 ○市民の人と観光客が楽しめる。
	2 逗子のPR	<ul style="list-style-type: none"> ○自然がある。山、海。鎌倉と葉山の間にある、立地がよい。 ○池子の森、逗子海岸をもっとPRしていく。 ○日本中に知ってもらいまちづくり。 ○ふるさと納税によりPRする。⇒例:しらす、あかもく ○コラボしてPRできれば ○自転車で市内を巡る ○フィルムコミッション
	3 高齢者の方が住みやすい街	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯住み続けたいまちづくり ○坂が多い。バリアフリーの整備 ○一人でも住み続けられる、コミュニティがあれば。
【2班】	1 地域ごとの伝統的な芸能を大事に継承していく	<ul style="list-style-type: none"> ○地域間の連携 ○先進事例の調査
	2 自然を大切に、次の世代に継承していく	<ul style="list-style-type: none"> ○開発をやめる ○トランクルームはやめてもらいたい ⇒雰囲気良くない ⇒規制を ○池子の森を市民が生活の一部となるような公園に ⇒もっと自由に使えるように ○恵まれた自然を 海と山の
	3 生活道路の整備 ⇒使い勝手の良い道路を (ルール、マナーなど) (ハード、ソフト両面で)	<ul style="list-style-type: none"> ○啓発活動を地道に続けていく ○自転車の乗り方

	返子でこういうふうに住らしたい	そのためにならなな物、こと。そのためにならできること、しななければいけななこと	
【3班】	1	安心・安全な暮らし	○地域で自分たちで街を守るために行動をする
	2	海や山などの緑豊かな環境での暮らし	○今の緑を維持していくために緑を植えたりする
	3	健康で暮らしなたい	○検診率を上げるために市民へ行政がアプローチする。その際には、他機関にも協力を依頼する ○病院に頼らななように
【4班】	1	自然が多い(環境の良さ) 海、山、川を大事になら生かして楽しむ	○良さを知るためにワークショップ ○広報活動、アピールする
	2	防犯、安全、安心な暮らし (子育て、子どものためにも)	○防犯カメラ設置。 ○歩行者、自転車に安全な街(下水のふたの整備、歩いて通れるように) ○定住者を増やし(将来のために財政増)、市の良さをPR(交通便利) ○第一運動公園は良いところだが行きななにくい。バスが欲しい。
	3	コンパクトシティ、コミュニティ	○互いに相談できる関係づくり ○もって市民が顔を合わせる場、意見交換できる仕組みづくり
【5班】	1	今ある自然を残して緑のあるきれいな町で暮らしなたい	○住民がゴミを捨てる時のマナー、ルールを作ってそれを守ってもらう(守ることが環境づくり) ○まずは、地域の代表(気づいた人)が見守り、整理整頓、奉仕の精神。⇒自らの心がけに
	2	お店がある買い物しやすい環境で暮らしなたい	
	3	共働きができる子育てしやすい環境で暮らしなたい	○近所の人に預けたりしてもらえななような日頃のコミュニティ ○祭りに参加して友だちづくり ⇒顔つなぎ

【6班】		返子でこういうふうに住らしたい	そのために必要なもの、こと。そのためにできること、しなければいけないこと
1	緑豊かなまちで暮らし続けたい ・きれいな田越川 ・美しい山々	○土地の分割の制限をする(小さい土地に木を埋めることはできない) ○「特別保存緑地」を増やすことを本当に真剣に取り組む ○緑化に関連して、私学の土地に対する税金を投入できない決まりを解決するような条例にしたい	
2	文化環境の充実したまち ・市民交流センター ・映画館	○返子駅中心に作る。市民みんなが利用しやすいところに作る ○空き家を文化的利用 ⇒所有権を移さず、利用者が利用できるようにする 税金の免除など 地域の古い家屋を文化的資産と考え、保全できる仕組みを考えたい	
3	医療機関同士のネットワークが充実したまち	○市内の個人病院間のネットワークを密にして、総合病院に匹敵する機能を持たせる ○市だけでやろうとせず、民間と連携する。	
【7班】			
1	子育てのしやすい街づくりを進めていきたい	○子育て推進地域を設定して、その地域の空き家を積極的に活用したり、認定施設を作り、環境づくりを行う。 ○総合病院の誘致を行う ○児童が外で遊びやすい環境づくり	
2	安心安全な街のイメージを押し出していきたい(作りたい)	○電柱などの地中埋め込みやライフラインの整備(誰もが利用しやすい街づくり) ○景観についての見直し	
3	地元の商店街の魅力を高める地域を活性化する	○場所を求める事業者(やりたくても場所がない)に空き家など場所の活用 ○地元の魅力を再確認し、それを市内全域に広める	

逗子でこういうふうに暮らしたい		そのために必要なもの、こと。そのためにできること、しなければいけないこと
【9班】		
1	一人一人が思いやりを持って生きていけるまちにしたい	<ul style="list-style-type: none"> ○市民以外の人にも思いやりをもって接して欲しい(特に夏のシーズン)。駅周辺での水着などやめてほしい ○マナー、モラルをみんなが守ってほしい ○ゴミ捨てるルールを守る(市外の人にもわかりやすいルールを示す)
2	逗子らしい健康と医療	<ul style="list-style-type: none"> ○逗子市民だと他の地域の病院に行った時に割引をしてもらえる ○ウォーキング、トレッキングのコースをわかりやすく示す
3	コミュニティに参加(入りやすい)しやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ○新たに転入してきた人もコミュニティに参加しやすい雰囲気を作る
【10班】		
1	安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ○道の整備(車いすやベビーカーを利用できる道) ○街灯が少なく暗い ○ブロック塀をやめる(災害に備えて) ○医療機関の充実
2	働きやすいまち	<ul style="list-style-type: none"> ○交通の利便性の良さをアピールする(逗子発で座って東京に行ける) ○空き家を活用し、人を呼び込む ⇒環境を守りながら呼び込める 空き家活用のサポートを市が行う
3	環境保持(自然、緑)	<ul style="list-style-type: none"> ○緑を大切に。田越川の水のきれいさを保持(ホタル) ○海岸のきれいさを保持。次世代に続く、つなげていく ○環境活動を行っていく

返子でこういうふうに住らしたい		そのために必要なもの、こと。そのためにできること、しなければいけないこと
【11班】		
1	環境を大事にしたい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 税金が必要 ○ 市外から観光に来た人がお金を落とす仕組み ○ ふるさと納税(市民、市民以外の) ○ 使用料の差別化 など
2	人とも関わりを持ちたい	
3	安全に動き回れるまち	
【12班】		
1	自然環境を豊かに守っていけるまち	○ 緑地を守る条例の厳守
2	ゴミ屋敷、空き家、空き地対策をした美しいまちなみのまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ 庭の管理を徹底させる ○ 行政は施策を投げっぱなしにしない ○ 補助金を出すなら、その後の動向まで責任を持つこと
3	人が集まれるイベントのあるまち	<ul style="list-style-type: none"> ○ イベントに三世代で参加できる ○ 情報の一元化(どこで、いつ、何が起きているのか)
【13班】		
1	何もないけど“幸せ”	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適度な<u>便利さ</u>と、適度な<u>不便さ</u> ⇒ 高齢者と若者のバランス ⇒ 微妙なバランスを維持 ↓ (例) 始発駅2線、高速 ○ 自然 “海と山”があり、<u>ほっとできる</u> ⇒ 自然環境の維持、環境美化 ○ 街の雰囲気 ⇒ 昔からの積み重ね、文化を大切に、孤立しないような人との交わり

逗子でこういうふうに住みたい		そのために必要なもの、こと。そのためにできること、しなければいけないこと
【14班】		
1	安心・安全な街で	<ul style="list-style-type: none"> ○総合病院と救急病院が必要 ⇒搬送時間がかかる。持ち回りでの近隣での協力体制もいいのでは ○健康年齢を維持する ⇒動きやすく道路を整理する。交通機関、移動手段も含めて
2	自然を生かした街並みで	<ul style="list-style-type: none"> ○海と山をつなぐ移動手段があれば ⇒整備
【16班】		
1	いろいろな世代と一緒に暮らしたい	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションが必要 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の 世代をわたっての ・お互いの情報共有 ⇒ルールづくり ←後で文句を言わないように意見を言う <p>(最近、年寄りと若者の交流が減っている。核家族化で分断されているという話から…コミュニケーションが必要だとわかっている、自分から動かない。声を出してみることも大切。声を出すことでルールが作られていく。いろいろな関わりを持つことで交流ができる)</p>
【17班】		
1	安心して暮らせるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○総合病院の誘致 ○防犯カメラの整備 ○皆であいさつするまちに ○通学路の整備(子どもの安全、安心) ○災害対策(津波)避難経路
2	活気があるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代に来てもらう。住みたいと思うまちに ○中・高生のコミュニティ交流を ○空き家対策 ⇒空き家に住んでもらう ○「あいさつ宣言」逗子のまち

返子でこういうふうに住らしたい		そのために必要なもの、こと。そのためにできること、しなければいけないこと
【18班】	1 年代を問わず楽しく暮らしたい	○コミュニティを大切にする ○世代間交流。それぞれの得意分野を活かす ○男性も活躍できるように
	2 安心・安全	○道を広くする。自転車が危ないので交通ルールの教育 ○住民同士の見守り
	3 静かな町	○観光地化しない ○自然との調和を大切にして、住民が暮らしやすいように
【19班】	1 医療体制の整備	○24時間受け入れ可能な医療機関の誘致。できれば総合病院の誘致を
	2 高齢者、子どもの見守り	○ボランティア、元気な高齢者の活用を
	3 交通体制の整備	○狭い道路の解消や外国人にもわかる表示の改善を